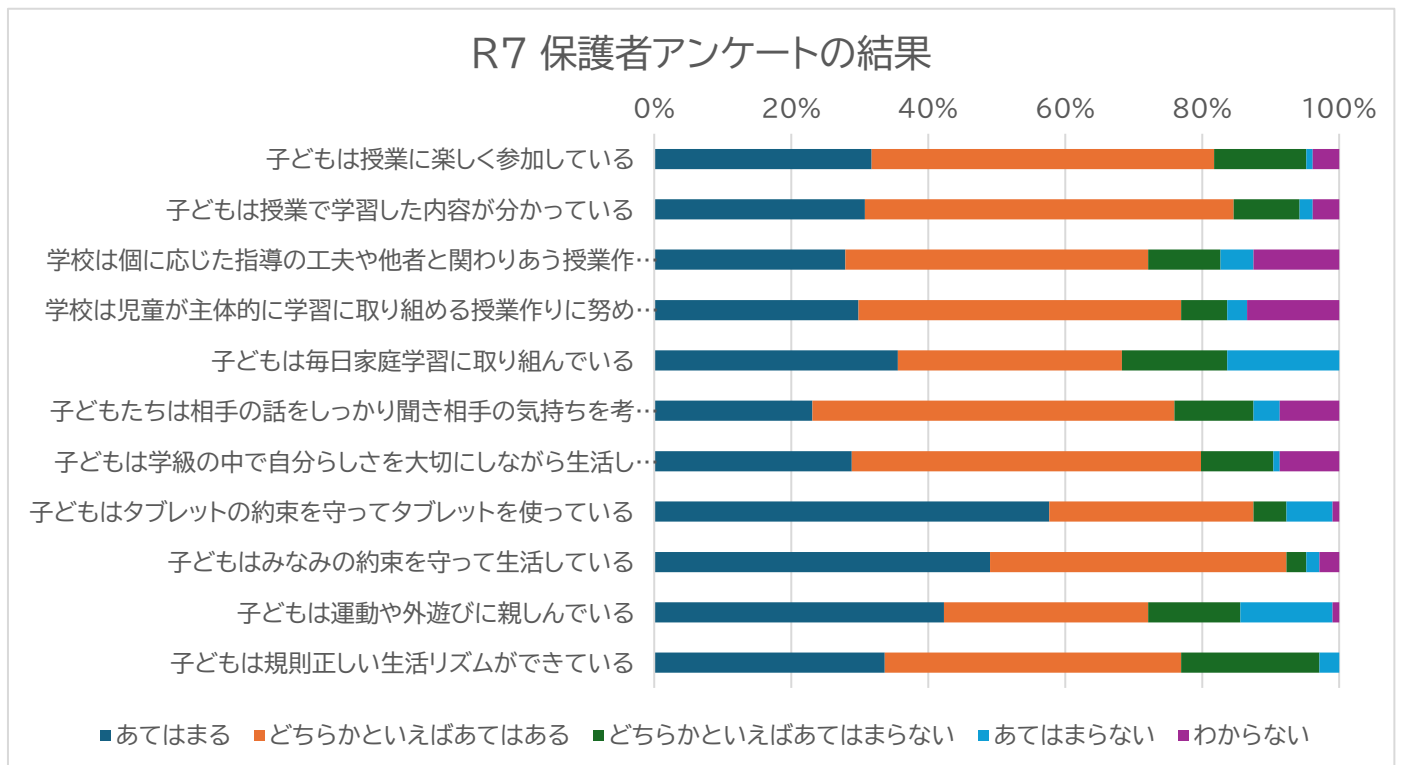
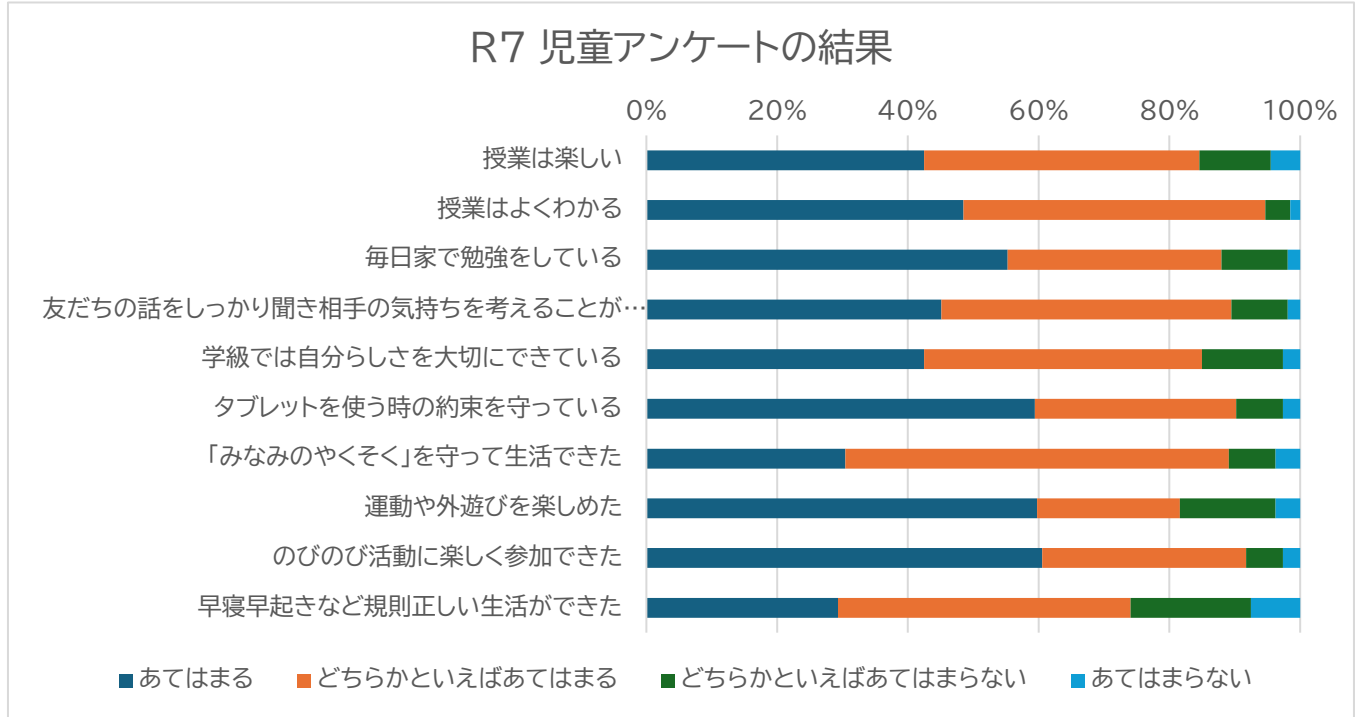


## 令和7年度学校評価アンケート結果

◎今年度、重点課題として取り組んできた事柄について振り返りをおこないました。アンケートの結果は以下のようになっています。



◎児童と保護者の結果を並べて表示します

質 問		あてはまる	あてはまる どちらかといえば	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない	わからない
授業は楽しい	児童	42.5	42.1	10.9	4.5	
	保護者	31.7	50	13.5	1	3.8
授業が分かる	児童	48.1	45.9	3.8	1.5	
	保護者	30.8	53.8	9.6	1.9	3.8
毎日家で勉強をしている(宿題を含む)	児童	55.3	32.7	10.2	1.9	
	保護者	35.6	32.7	15.4	16.3	0
友達の話をしっかり聞き相手の気持ちを考えている	児童	45.1	44.4	8.6	1.9	
	保護者	23.1	52.9	11.5	3.8	8.7
学級では自分らしさを大切にして生活できている	児童	42.5	42.5	12.4	2.6	
	保護者	28.8	51	10.6	1	8.7
「タブレットを使う時の約束」を守っている	児童	59.4	30.8	7.1	2.6	
	保護者	57.7	29.8	4.8	6.7	1
「みなみの約束」を守っている	児童	39.5	58.6	7.1	3.8	
	保護者	49	43.3	2.9	1.9	2.9
運動や外遊びを楽しめた	児童	59.8	21.8	14.7	3.8	
	保護者	42.3	29.8	13.5	13.5	1
規則正しい生活ができた	児童	29.3	44.7	18.4	7.5	
	保護者	33.7	43.3	20.2	2.9	0

◎これからの時代を生きる子どもたちに身につけさせたい力など、保護者の皆様からいただいたご意見を以下に示します。(いただいたご意見をまとめ、要約しています)

①主体性・自ら考えて判断する力(いただいたご意見で一番多かった)

- ・学習だけでなく様々な場面で自分から取り組んだり主体的に考えて行動したりできるようになってほしい。
- ・何が正しいのかまた自分はどう行動すべきなのかを自分で考えて判断できる力を身につけてほしい。

②コミュニケーション力

- ・ネット時代の子どもだからこそ人に対する接し方や言葉の必要性を知り対人コミュニケーションの力をつけることが必要。
- ・共感力とコミュニケーション、相手の感情を読み取ったり対話して合意したりする力をつけてほしい。

③規範意識や思いやり

- ・自分自身も他者も同じくらい大切にできるような思いやりを持ってほしい。
- ・相手の立場に立って考える社会生活に必要なルールやマナーを守る大切さを学んでほしい。
- ・大人が気付かないところでいじめが起こったり弱い子をターゲットにしたりすることがないように何でも話せて守ってあげられる環境を作ってほしい。

#### ④体験活動

- ・デジタル化がどんどん進んでいるが読む、書く、体を動かす、友だちと関わるなどデジタルでない経験や自然体験なども大切にしてほしい。

#### ⑤挑戦することやがんばること

- ・物事を前向きにとらえ楽しめる力を身につけてほしい。
- ・大人になれば楽しいことばかりでなくつらいことやしんどいこともたくさんあるので、そんなことにも対応できる力をつけてほしい。
- ・失敗しても間違ってもあきらめずに何度も挑戦したり頑張ったりすることの大切さを学んでほしい。

#### ⑥デジタル活用能力

- ・iPadの有効な活用方法やネットやSNSで気を付けることを覚えてほしい。
- ・デジタル機器を正しく使える力を身につけてほしい。

#### ⑦その他

- ・好きなことや得意なことを伸ばし、そこからいろいろなことを学んでほしい。
- ・自立する力を身につけてほしい。
- ・表面だけでなく本質を見抜ける多角的な視点を持ってほしい。
- ・みんなで力を合わせて思い出になるような体験がたくさんできるとよい。
- ・お金の知識を身につけてほしい。
- ・基礎学力が大事。
- ・音楽会を開催してほしい。
- ・家庭や学校、子どもたちに関わる全ての大人が子どもたちと本気で向かい合っているか、環境因子もとても大きく影響していると感じる。

#### ◎考察

・児童アンケートではほとんどの項目で肯定的な回答が80%を超えておりおおむね良い結果でしたが、保護者アンケートでは約半数の項目で肯定的な回答が80%を超える評価をいただきました。その一方で肯定的な回答が70%程度の項目も約半数あります。今後の課題として取り組みが必要であると考えています。

・児童アンケートについては、ほとんどの項目で肯定的な回答が80%以上となっていました。「規則正しい生活」については肯定的な回答の割合が低く(74%)なっていました。「規則正しい生活」は保護者アンケートでも肯定的な回答の割合が低く(77%)なっており、今後の課題であると言えます。心身ともに元気に学校生活を送り、学習に集中して取り組めるようにするためにも「規則正しい生活」についての指導を継続していきます。

・児童アンケートでは「運動や外遊び」についての肯定的な回答が他の項目と比較して少し低め(81.6%)になっていました。保護者アンケートでもさらに低い結果(72.1%)となっています。学校ではある程度、外遊びや運動をしていますが家庭ではその機会が少ないとも考えられます。運動が好きでない、得意でない児童もいますが「生涯にわたる心身の健康を目的とした運動の推奨」は引き続き行っていきたいと考えています。

・「家庭学習」について肯定的な回答の割合は、児童(88%)と保護者(68.3%)で大きな差がありました。家庭学習の方法やその大切さについて児童、保護者と共に考えながら進めていけるよう、今後も取組を進めていきます。

・今年度は「対話を通して互いの考えを認め合い、より良い学びへ。主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善」を研究主題として研修を重ねてきました。しかし保護者アンケートで「学校は個に応じた指導の工夫や他者と関わり合う授業づくりに努めている」「学校は児童が主体的に学習に取り組める授業づくりに努めている」といった質問に対して13%前後の「分からない」という回答がありました。学校だよりや学級懇談会、ホームページ、エックス等を通じて学校の取組をお知らせしてきましたがまだまだ十分に伝わっていないと言えます。今後も情報発信に努めます。